

CT 装置および PET/CT 装置の洗浄と消毒について

目的

Philips CTおよびPET/CTの洗浄と消毒を、安全に行っていただくためのご案内です。

用品

ご使用のCTおよびPET/CTに付属する取扱説明書やテクニカルリファレンスガイドをご確認ください。

洗浄手順

1. 備品や装置の表面に見て取れる汚れ（有機物・無機物）を取り除くため、洗浄剤を含んだ水や酵素性洗浄剤を用いて洗浄を行います。消毒に際して、装置の表面に汚れが残っているとその効果が妨げられますので、汚れを完全に除去する必要があります。
2. 装置表面の洗浄には、洗浄剤や水以外の洗浄用品（腐食、溶解、研磨、つや出し等の効果を持つもの）を使用しないでください。
3. 装置の洗浄に合成洗剤や有機溶剤は使用しないでください。強い洗剤、アルコール、有機洗浄剤は仕上げ面を損傷するおそれがあるだけでなく、構造面の弱화를惹起するおそれがあります。

消毒手順

1. 消毒は、CDCガイドライン（http://www.cdc.gov/hicpac/pdf/guidelines/disinfection_nov_2008.pdf）にて定義される低～中レベルの内容に従うことが求められます。当装置の表面は特に厳しい指示のある部類には当たらず、低～中レベルの消毒に該当します。コンソール、ガントリ、寝台、およびアクセサリ類を含む装置の表面を、販売が許可されている市販の殺菌剤を使用して洗浄します。洗浄および消毒には以下が使用できます。
 - ・ 10倍希釈漂白剤相当のスプレー洗浄剤やワイブ
 - ・ 低～中レベルの消毒殺菌剤を用いたワイブや液体殺菌剤
 - ・ 3% 過酸化水素
 - ・ エタノール
 - ・ 液化石油ガス（硫黄化合物除去済み）
 - ・ 第四級アンモニウム化合物
 - ・ ベンジル-C12-18-アルキジメチル
 - ・ サッカリン塩 / 1,2-ベンゾイソチアゾール-3(2H)-オン1,1-ジオキシド
 - ・ 蒸留水



PHILIPS

- ・ 変性アルコール
 - ・ 10倍希釈の漂白剤または消毒用ワイプ
 - スキャナの前後カバーを洗浄する際は、洗浄剤が内部に流入することのないよう、マイクのある部分を保護してください。
 - ボタンやガントリの開口部を洗浄する際は、洗浄剤が内部に流入することのないよう、注意してください。
 - 血液や造影剤は衛生上のリスクとなります。血液や残存している造影剤を除去する際は、衛生面および安全面に十分配慮してください。
2. 消毒剤は装置内部に浸透する可能性があるため、噴霧式消毒用品の使用は推奨されません。室内を噴霧式の装置で消毒する場合は装置の電源を遮断し、温度を下げた後、ビニールシートなどで装置を覆ってください。消毒剤の噴霧が弱まった後、ビニールシートを除去して、全体を拭き取ってください。
 3. 可燃性、爆発のおそれのある消毒スプレーは、気化による発火、およびそれによる致命的もしくは深刻な人身事故、または装置の故障を招くおそれがあるため、使用しないでください。
 4. 紫外線空気清浄機は検査室の消毒、殺菌に使用することができます。
 5. 紫外線殺菌灯による消毒、殺菌は、感染症の交差感染を防ぐため、数分程度使用することができます（殺菌灯を遠隔操作できる場合において）。
 - 紫外線殺菌灯を使用する際は、人身事故を避けるため、室内に誰も居ないことを確認してください。
 - 装置へのダメージを避けるため、紫外線殺菌灯を直接装置へ向けて照射しないでください。